

城南魂

正しい心
美しい心
粘り強い心

朝晩と昼の寒暖の差が徐々に大きくなり、体調を崩す人もでてきているようです。体調管理には十分気をつけてください。さて、皆さんは10年後の世の中がどうなっているか考えたことがありますか？

技術革新等の影響により、2030年には、今の子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就くと予測や、今後10年~20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高いといわれています。そんなこれからの時代を生き抜くために必要な力とは何か…。

99.97%

皆さんは「GUNZE」という会社を知っていますか？「GUNZE」は製糸業を起点に多くの分野の製品を開発されている企業です。例えば、皆さんが着ている肌着やパジャマ、ペットボトルのフィルムなどの、身近にある物をGUNZEでは作られています。

さて、上にあげた99.97%とは何か…。これは、100年間で会社が消える確率だそうです。つまり、100年間で0.03%の確率でしか会社は生き残ることが出来ないこととなります。GUNZEは1896年(明治29年)に創業し、今年で129年目を迎えます。会社として生き残ることが厳しいこの世の中で129年間も生き残っている会社の秘密とは何か…。

それは、「三つのしつけ」です。GUNZEでは、創業当初から社員に「三つのしつけ」を社員としての心構えとして、実践され続けられているそうです。その「三つのしつけ」とは何か…。

それは、「あいさつをする」、「はきものをそろえる」、「そうじをする」だそうです。

どう思いましたか？ものすごい秘密が隠れているかと思ったら、今、学校で皆さんが実践していることがそのまま会社で心構えとなっているのです。毎年、新入社員には、社長がこの「三つのしつけ」を実践するように話をされているそうです。このように皆さんが、学校生活で実践をしていることがこの会社ではそのまま大事にされています。

さて、冒頭で述べたこれからの時代に必要な力とは何か…。それは「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」と言われています。中でも「豊かな人間性」とは、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などと言われています。「GUNZE」の「三つのしつけ」の話は、特に「豊かな人間性」を培うことにつながります。

ぜひ、「三つのしつけ」を自分自身ができているか振り返ってみてください。思いやりのあるあいさつができているでしょうか。下駄箱の靴やトイレのスリッパはそろっているでしょうか。そうじは時間いっぱい隅々まできれいに出来ているでしょうか。

これらがあなたたちが社会に出たときの財産になります。ぜひ、身に付けていきましょう。

(保護者の皆様へ)

朝晩が肌寒くなってきました。合服等への移行については、いつからとは定めておりませんので、各家庭でご判断下さい。また、更に寒くなると学生服やボックスを着るようになると思います。冬服のきまりについても子ども達に話をしていきますが、特に、制服の内側に着るセーターやトレーナーについては袖や裾からでないようなサイズで着させてくださいますよう、お願いいたします。また、カイロについては持ち込み可能ですが、必ずご自宅で処分をしてくださいますよう、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。